

## 「多元的国家の形成過程と日本」に関する研究実績報告

### The Formation Process of Multiethnic Nations and Japan

総括研究員：竹村民郎

分担研究員：井沢久昭 鎌田武治 喜多見洋

国際化、情報化の進展とともに、国境をこえた諸民族相互の交通及び移民等が大量かつ頻繁に行なわれている。21世紀の世界は多民族混住の社会がひろく出現するだろう。しかしその一方で宗教問題や近代帝国主義の民族支配に起因して発生した民族問題も根強く存続し、東西冷戦の終結を契機として、世界的に地域紛争、民族対立の激化として顕在化している。しかしながら現代日本では多元的国家の形成乃至多民族の共生、民族問題等に対しては関心が希薄であるといえるだろう。

われわれはこうした世界と日本の状況を念頭において共同研究のテーマを考察してきた。1997年度各研究員の研究活動の概略は以下の通りである。伊沢研究員はミャンマー、カンボジア、ベトナム、ラオス等の民族問題調査のため、現地に赴き、貴重な資料を収集したほか研究上有益な活動を行なった。鎌田研究員はイギリスにおける民族政策研究のため、イギリスに赴き、重要な問題点を確認するとともに多くの資料を集めた。喜多見研究員はEUの民族問題就中スイスの民族問題に焦点をすえ、専らスイスの国家形成史との関連で民族問題の理論的かつ実証的研究を深化させた。喜多見研究員は平成10年度の研究としては、ジュネーヴに赴き課題に関する調査と資料収集を行う予定である。竹村研究員は日米の民族問題の比較考察のために、アメリカに出張し調査活動を行った。その過程でインディアン及びアメリカのマイノリティーに関する貴重な研究と調査を行い、又多くの資料を集めることができた。